

**2018年3月期**  
(2017年度)

**第1四半期**  
**決算概要**

2017年7月28日  
株式会社リコー

本資料に記載されている、リコー（以下、当社）現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

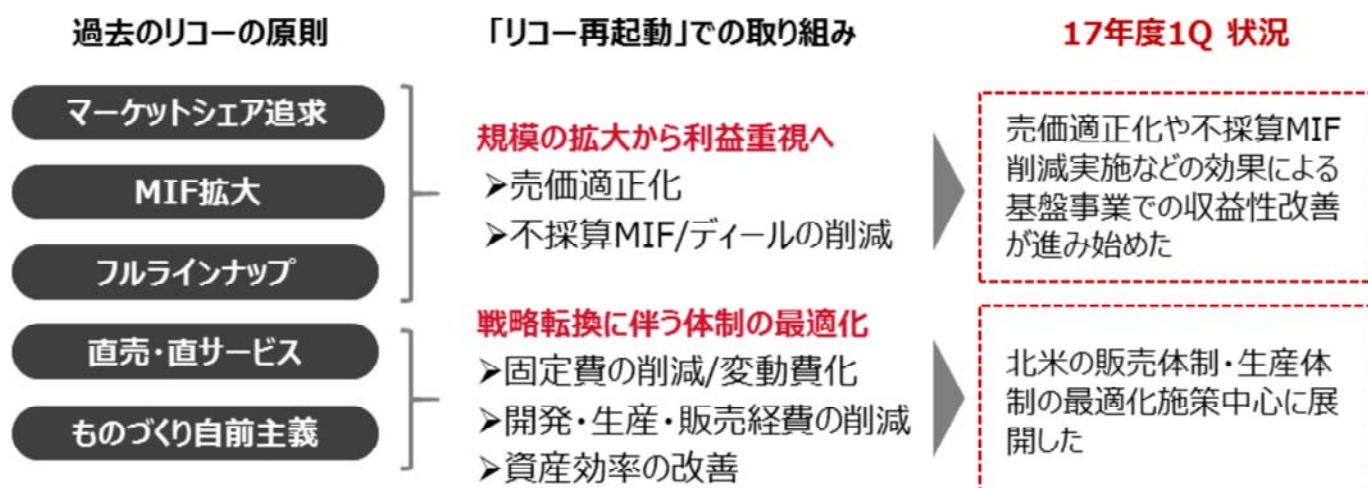
従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにのみ全面的に依拠なさらないようお願い致します。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、 a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、 b) 為替レートの変動、 c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、 d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。（参照：「事業等のリスク」<http://jp.ricoh.com/IR/risk.html>）

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。  
投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

● 「リコー再起動」(2017年4月公表)で示した「会社の収益構造を変える」  
取り組みを着実に進めた



- 2018年3月期第1四半期決算につきましてご説明いたします。
- 第1四半期は、4月に公表した「リコー再起動」で示した取り組みを着実に進めました。
- 「マーケットシェア追求」「MIF拡大」「フルラインナップ」「直売・直サービス」「ものづくり自前主義」という従来のリコーの原則について、市場の成長が拡大している時は良かったが、事業が成熟してくる中で、非効率や不採算の要因となっていました。これらの原則を見直すべく、第1四半期から「リコー再起動」として“規模の拡大から利益重視へ”、“戦略転換に伴う体制の最適化”の変革に取り組んでいます。
- この第1四半期は、  
「利益重視」については、売価適正化や不採算MIFの見直しを実施し、収益性の改善が進み始めました。  
「体制の最適化」については、北米の販売体制の構造改革を進めました。

	FY18/03 Q1実績	前年同期比
売上高	4,925億円	+1.0%
営業利益	189億円	+74.1%
営業利益率	3.8%	+1.6pt
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	107億円	+126.3%
EPS	14.89円	+8.31円
FCEF *	346億円	+175億円
研究開発投資	255億円	△13億円
設備投資(有形固定資産)	135億円	△24億円
減価償却費(有形固定資産)	169億円	+6億円
平均為替 レート 1USD/円	111.16円	+3.08円 +0.14円

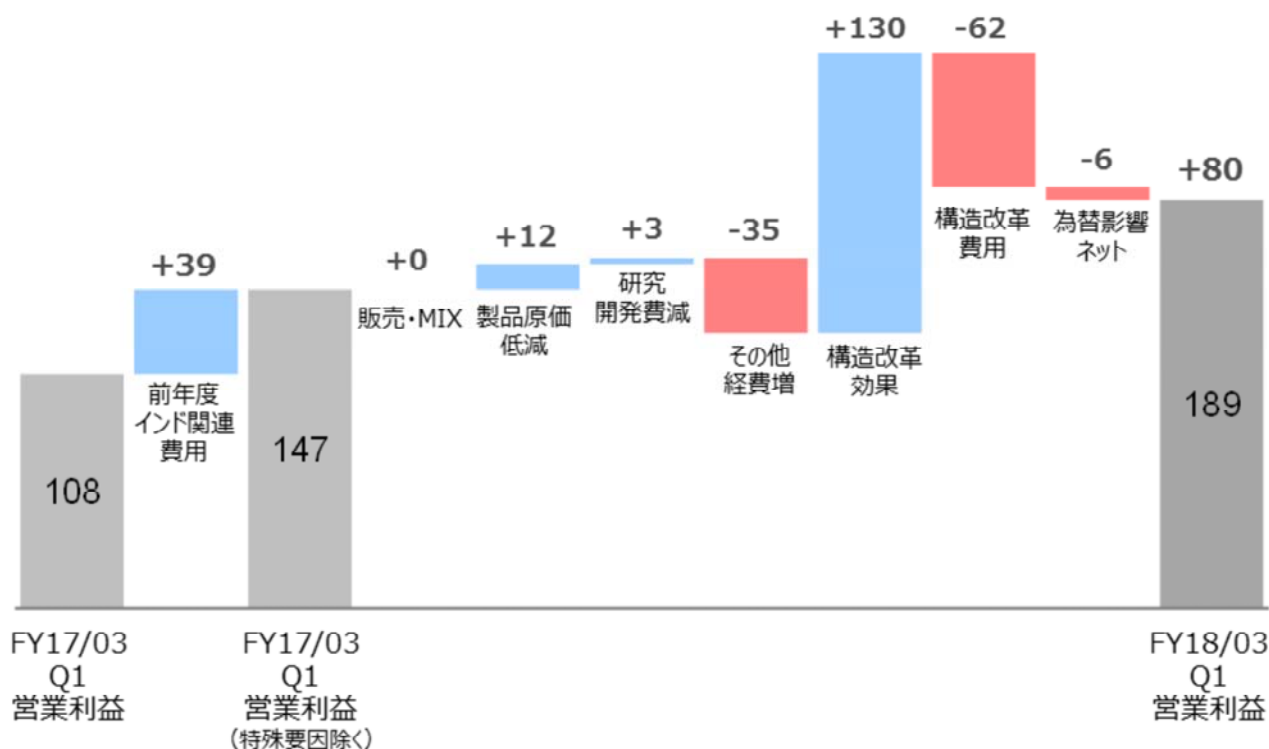
為替除く前年同期比：△0.0%

営業利益推移 ■ 営業利益(億円) — 営業利益率



\* FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) : ファイナンス事業を除くフリーキャッシュフロー

- 2018年3月期第1四半期の連結売上高は4,925億円と前年比+1%の増収となりました。オフィスプリンティングは減収となったものの、成長領域であるオフィスサービス、商用印刷、産業印刷などが増収となりました。
- 営業利益は、189億円と前年同期比+74%の増益となりました。オフィスプリンティング事業が、売価適正化や不採算MIF削減実施などの効果により、増益となったことに加え、構造改革の展開とその効果の取り込みが予定通り進みました。
- 営業増益を受けて、当期利益も107億円と前年同期比+126%の増益となりました。
- 研究開発投資や設備投資は、成長分野に重点化するなどメリハリをつけながら実施した結果として、前年同期から減少となりました。



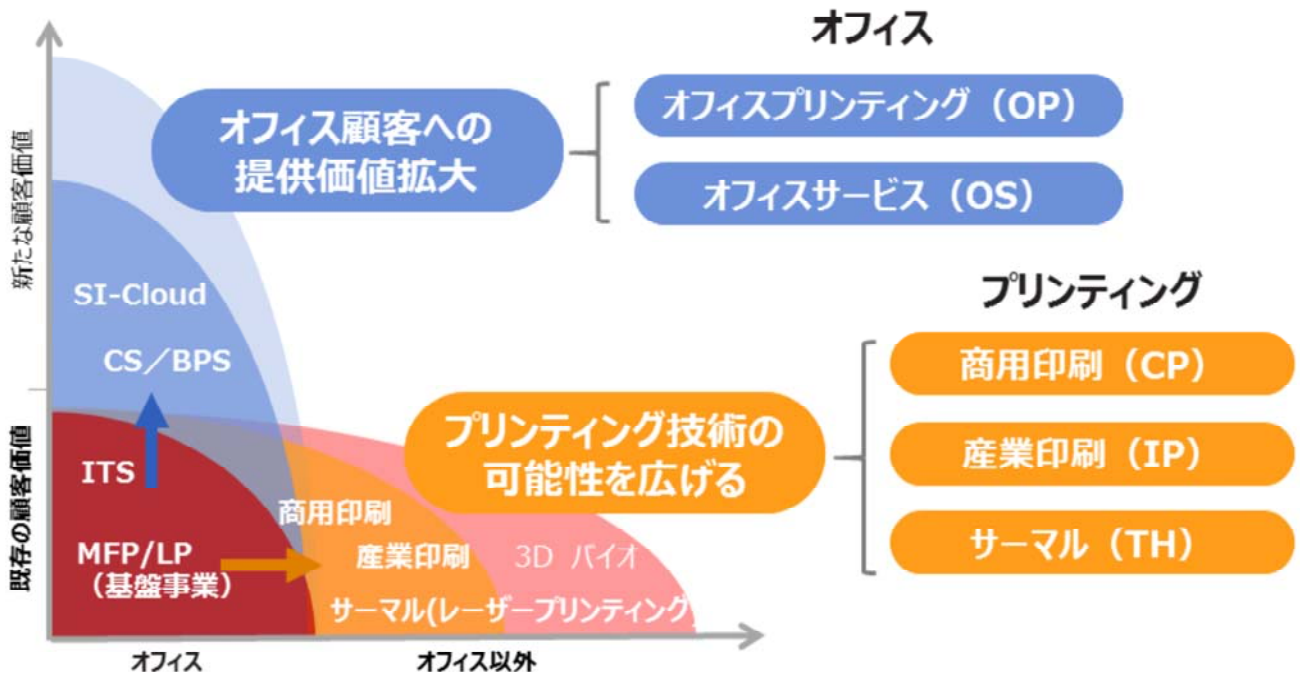
- 第1四半期連結営業利益は189億円と、前年同期比+80億円、+74%の増益となりました。前年の108億円にはインド関連費用39億円の特殊要因が含まれており、この特殊要因による増益分を除いても前年同期比増益となりました。
- 「販売・MIX」は、前年同期比フラットとなり、第1四半期ではこれまで続いていた減益傾向に歯止めをかけることができました。
- 「製品原価低減」「研究開発費」「その他経費」は期初見通しに沿って推移しました。
- 「構造改革効果」は前年度施策の効果に加えて、第1四半期に実施した施策による効果として130億円となりました。
- 「構造改革費用」は62億円を計上しました。
- 為替は、前年同期比では減益要因となり、結果として、第1四半期連結営業利益は189億円となりました。
- 期初計画に対しては、上振れて着地しました。「販売・MIX」で収益改善が進んだこと、「為替」が想定レートよりも円安で推移したことによります。

- 「リコー再起動」で再定義した各事業領域の状況を示す開示セグメントに変更



- この第1四半期から、4月に公表した「リコー再起動」で再定義した各事業領域に基づく開示セグメントに変更しました。
- 開示セグメントは、「オフィスプリンティング」「オフィスサービス」「商用印刷」「産業印刷」「サーマル」「その他」の6区分で収益の開示を行います。

- 「リコー再起動」での成長領域「オフィス顧客への提供価値拡大」  
「プリンティング技術の可能性を広げる」に対応



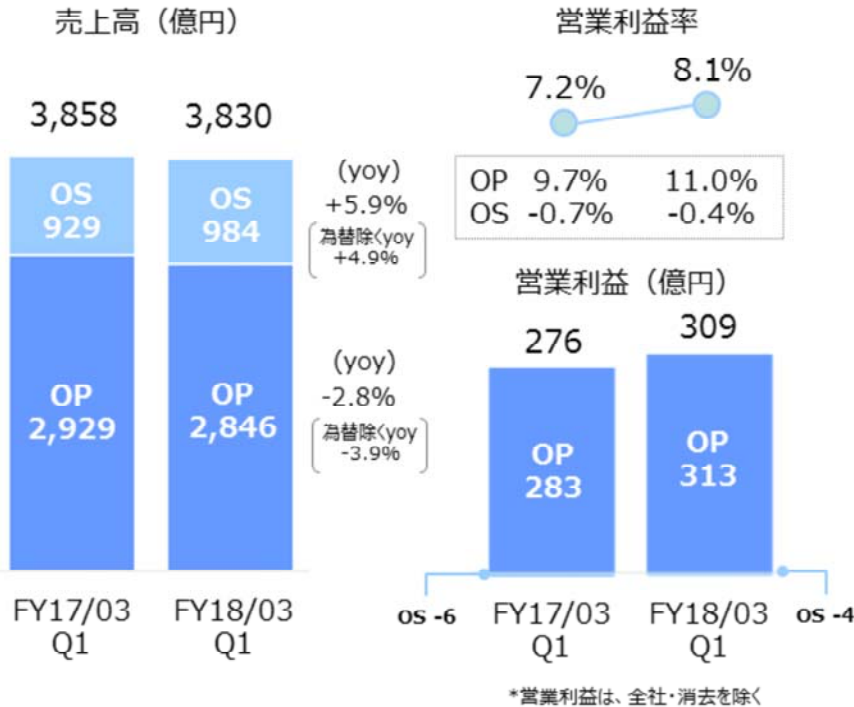
July 28, 2017

(C)2017 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

6

- 4月に公表した「リコー再起動」では、成長領域として、「オフィス顧客への提供価値拡大」と「プリンティング技術の可能性を広げる」をお示ししています。
- 縦軸は、既存のオフィスのお客様に新たな提供価値を拡大していくものでオフィスプリンティングとオフィスサービスが含まれます。
- 横軸は、オフィスで培った強みであるプリンティング技術を新たな事業領域へ拡大していくもので商用印刷、産業印刷、サーマルが含まれます。

## オフィス



## オフィスプリンティング（OP）

- ・A3カラーMFP、A4MFPが伸張
- ・収益性改善により、前年同期比増益

為替除くyoy	ハード	ノンハード
MFP	-4.8%	-5.6%
プリンタ	+1.8%	+5.6%
MFP+プリンタ 計	-4.3%	-3.5%

台数yoy	
MFP	+1.3%
プリンタ	-11.8%

## オフィスサービス（OS）

- ・コミュニケーションサービスなどが拡大
- ・お客様価値提供拡大のための開発費を増やした

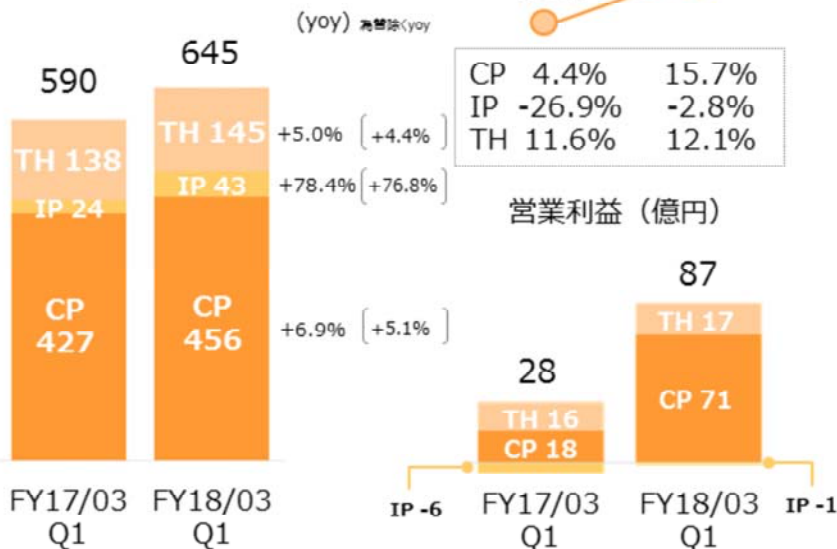
- オフィス領域についてですが、オフィスプリンティングは為替影響を除いても減収となりました。
- MFP全体としては台数は増加しておりますが、価格帯の低いA4機の割合が多いため、ミックスの変化の影響などにより減収となっています。しかし、不採算商談の見直しや粗利確保の為の売価維持等により、利益を確保しています。
- オフィスプリンティングの売上高は2,846億円となりました。
- また、構造改革によって効率的なオペレーションが実施できるようになったため、営業利益は増加し、利益率は改善しております。
- オフィスサービスの売上高は984億円となりました。
- コミュニケーションサービス等の各製品・サービスが拡大したことにより、増収となっています。
- 尚、お客様への価値提供を拡大するために、新たなサービス等の開発費を増やしています。
- オフィス領域では収益性改善が進んでいると言えます。



## プリンティング

売上高（億円）

営業利益率



### 商用印刷（CP）

・CS(カットシート)カラー機がハード、ノンハードの増収を牽引し、増収増益

為替除く yoy	ハード	ノンハード
CP	+7.4%	+6.6%

### 産業印刷（IP）

・IJヘッドが拡大し大幅増収  
 ・事業拡大のための開発費などが増加  
 ・産業用IJヘッド 2 製品を新発売  
 独自のインク循環構造により高い吐出安定性を実現



RICOH MH5421シリーズ

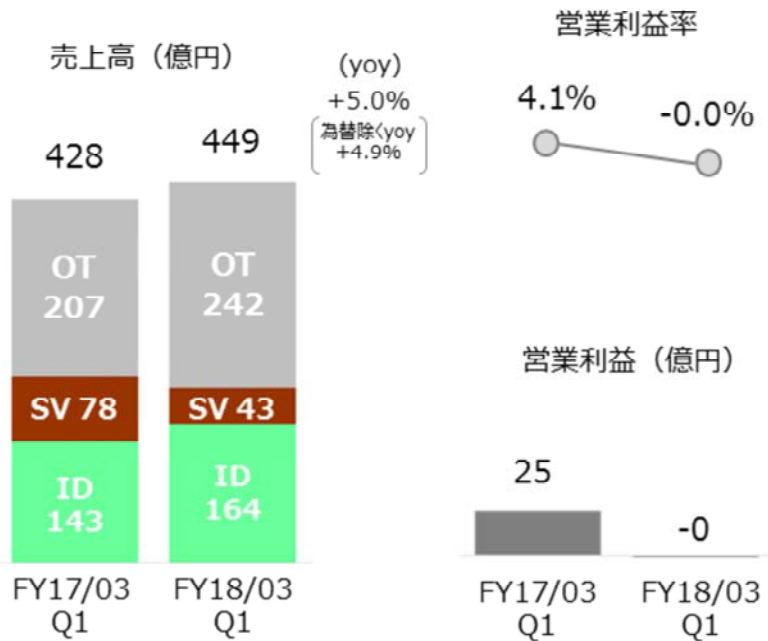
### サーマル（TH）

・サーマルペーパー・リボンなどが拡大

\*営業利益は、全社・消去を除く

- プリンティング領域についてですが、プロセスのデジタル化によってプリントボリュームが増加すると考えています。
- コマーシャルプリンティングの売上高は456億円となりました。
- 営業利益は71億円となりました。カットシートカラー機のノンハード増収などが利益に貢献しています。
- インダストリアルプリンティングの売上高は43億円となりました。
- インクジェットヘッドの販売が拡大し、増収となっています。
- 営業利益の赤字は、事業拡大のための開発投資などによるものです。産業用インクジェットは用途拡大が進んでおり、積極的に投資を行いながら事業を拡大しています。
- サーマルの売上高は145億円となりました。
- Eコマースの伸長などによってサーマルメディアの需要が増えることから、今後の伸びが期待できる分野となっています。
- プリンティング領域では着実に事業が伸長しています。

## ■ その他



### 産業プロダクツ（ID）

- ・オプトモジュールなどを中心に増収
- ・世界最小\*の車載用ステレオカメラを開発、量産開始

\*2017年4月時点、当社調べ



### SmartVision（SV）

- ・デジタルカメラが減収

### その他（OT）

- ・国内のファイナンスビジネスが伸張
- ・ミネベアミツミ(株)とヘッドセンサーシステムの共同事業開発契約を締結

\*営業利益は、全社・消去を除く

- その他は、光学技術を活かしたステレオカメラ等の製品を提供している「産業プロダクツ」を中心に売上が拡大しています。
- SmartVisionでは、全天球カメラTHETAを中心に画像技術を活かして事業を拡大していきたいと考えています。尚、THETAは好調ですが、他デジタルカメラ製品の売上減少の影響により減収となっています。
- 営業利益については、カメラ事業の売上減少と産業プロダクツ分野での開発投資増加により、減益となりました。

## 資産の部

(単位：億円)	2017年6月 末	17/03末比 増減額
流動資産	<b>12,630</b>	+238
現金及び預金	<b>1,408</b>	+57
営業債権及びその他の債権	<b>5,622</b>	△40
その他の金融資産	<b>2,813</b>	+47
棚卸資産	<b>2,136</b>	+110
その他の流動資産	<b>650</b>	+63
非流動資産	<b>15,178</b>	△22
有形固定資産	<b>2,644</b>	△68
のれん及び無形資産	<b>3,890</b>	+8
その他の金融資産	<b>6,658</b>	+102
その他の非流動資産	<b>1,984</b>	△65

資産合計 **27,808** +215

(17/03末比増減)

(参考)期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 112.00(- 0.19)  
EURO 1 = ¥ 127.97(+ 8.18)

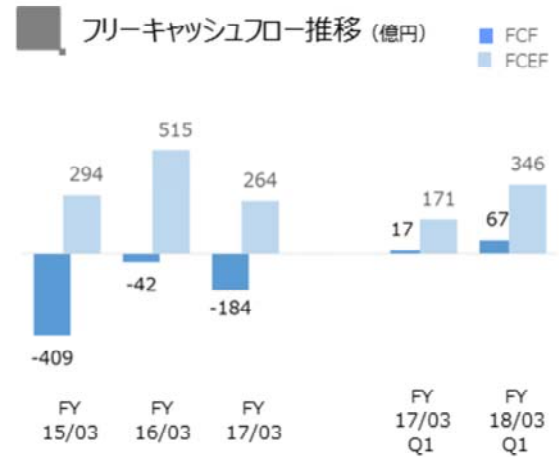
## 負債及び資本合計の部

(単位：億円)	2017年6月 末	17/03末比 増減額
流動負債	<b>7,781</b>	△288
社債及び借入金	<b>2,237</b>	△62
営業債務及びその他の債務	<b>2,782</b>	△175
その他の流動負債	<b>2,761</b>	△50
非流動負債	<b>8,685</b>	+330
社債及び借入金	<b>6,533</b>	+235
退職給付に係る負債	<b>1,211</b>	+4
その他の非流動負債	<b>940</b>	+90
負債合計	<b>16,466</b>	+42
親会社の所有者に帰属する持 分合計	<b>10,584</b>	+163
非支配持分	<b>757</b>	+9
資本合計	<b>11,341</b>	+173
負債及び資本合計	<b>27,808</b>	+215
有利子負債合計	<b>8,770</b>	+173

- 総資産は215億円の増加となりましたが、為替換算影響を除くと、実質的には減少となっています。
- 営業債権は、前年度期末の販売拡大により増加し、その回収が1Qで進んだことから減少しました。季節要因による動きとなります。
- その他の項目で大きな動きはありません。



(単位：億円)	FY2017/03 Q1	FY2018/03 Q1
当期利益	63	122
減価償却費	258	266
[ 当期利益+減価償却費 ]	[ 322 ]	[ 388 ]
その他の営業活動	-45	-338
営業活動によるキャッシュフロー	276	50
有形固定資産の購入および売却	-150	-14
事業の買収	-2	0
その他の投資活動	-106	31
投資活動によるキャッシュフロー	-259	17
有利子負債の純増減	419	149
支払配当金	-126	-90
その他の財務活動	-4	-4
財務活動によるキャッシュフロー	288	54
換算レートの変動に伴う影響額	-111	15
現金及び現金同等物の純増減額	194	137
現金及び現金同等物期末残高	1,869	1,401
フリーキャッシュフロー(営業C/F+投資C/F)	17	67
FCEF (Free cash flow excluding finance business)	171	346



\* FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) :ファイナンス事業を除くフリーキャッシュフロー

- フリーキャッシュフローは67億円の収入となりました。
- ファイナンス事業を除いたフリーキャッシュフローであるFCEFは346億円の収入となり、前年同期から175億円の増加となりました。

- 足元の世界経済は緩やかな回復方向だが、楽観はできないと認識
- オフィス事業の収益性改善の成果は出始めたが、  
需要環境、競争環境などは引き続き厳しい前提を継続
- 「リコー再起動」で示した構造改革の取り組みを今後加速する。  
年間の構造改革費用は予定通り450億円計上の見込み



期初の業績見通しはQ1時点では変更しない

- 通期見通しの考え方をお伝えします。
- 足許の世界経済は緩やかな回復方向ですが、今後について決して楽観できる状況ではないと見ています。
- オフィス事業環境も引き続き厳しい状況が続くと考えており、徹底的な構造改革に取り組んでいきます。従前申し上げていた構造改革費用450億円は今後発生する見通しです。
- したがって、今回は期初見通しを変更いたしません。



● 期初見通しから変更なし

	FY18/03 通期見通し	前年同期比
売上高	20,000億円	△1.4%
営業利益	180億円	△46.9%
営業利益率	0.9%	△0.8pt
当期利益 <small>（親会社の所有者に帰属）</small>	30億円	△14.0%
EPS	4.14円	△0.67円
ROE	0.3%	±0.0pt
研究開発投資	1,170億円	+26億円
設備投資 <small>（有形固定資産）</small>	760億円	+5億円
減価償却費 <small>（有形固定資産）</small>	660億円	△20億円
前提為替レート 1USドル	105.00円	
(Q2以降) 1ユーロ	115.00円	

- 通期見通しは期初から変更いたしません。
- 通期の構造改革費用450億円、効果390億円の見通しも変更ありません。
- 以上で、決算概要の説明を終わります。



## Appendix



July 28, 2017

(C)2017 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

### <主なQ&A>

Q：リコー取り巻く事務機器業界の競争環境は？

A：厳しい状況が続いているが、ディールの取捨選択を行うことで、利益の確保を図っている。

Q：通期の増減益見通しで、「販売・M I X」は-210億円だが、1 Qでの実績は+0億円となっている。これは、取組みとして進めている「売価適正化」や「不採算M I F /ディールの削減」効果なのか、それとも市場要因なのか？

A：1 Q実績内訳として、オフィスプリンティングは「売価適正化」や「不採算ディールの削減」による価格のコントロールにより、想定よりも減益幅を縮小することができた。加えて、商用印刷等では前年比粗利増となり、販売・M I Xは前年並となった。

Q：通常、利益を重視すると数量が減るはず、施策が上手く進んでいるという感覚で良いか？

A：そう考えている。

ローエンドのプリンタは厳しい価格競争が続いているため、ローエンドプリンタのみのディールは抑制したり、セールスに対する評価制度を変更し始めている。また、それ以外にも、全て本社指示待ちではなく、利益重視の方針の下に、各極販社の判断で行っている施策もある。

Q：構造改革効果について、1 Q実績130億円の内、M I F 売却63億円を除いた67億円が今後も各四半期に効いてくるという理解で良いか？

A：概ねその通り。但し、1 Qに行った施策の内、まだ効果が出ていない内容もある。今後効果が積み上がることを見込んでおり、現時点まで行った施策での通年効果は313億円となる。

Q：4月に北米で1,300名を削減したとの話があった。今回の2,400名の人員減に含まれているのか？

A：含まれている。

## ◆従来セグメント

セグメント	分野	製品・サービス
画像 & ソリューション	オフィス イメージング	MFP（マルチファンクションプリンター）・複写機・プリンター・印刷機・FAX・スキャナ等機器、関連消耗品・サービス・サポート・ソフトウェア、ドキュメント関連サービス・ソリューション等
	ネットワーク システム ソリューション	パソコン・サーバー・ネットワーク関連機器、関連サービス・サポート・ソフトウェア等
	プロダクション プリンティング	カットシートPP（プロダクションプリンター）・連帳PP、広幅機等の機器、関連消耗品・サービス・サポート・ソフトウェア等
産業		サーマルメディア・光学機器・電装ユニット・半導体・インクジェットヘッド等
その他		デジタルカメラ等

## ◆新セグメント（2017年度～）

セグメント	事業領域	製品・サービス
オフィスプリンティング		MFP（マルチファンクションプリンター）・複写機・プリンター・印刷機・広幅機・FAX・スキャナ等機器、関連消耗品・サービス・サポート・ソフトウェア等
オフィスサービス		パソコン・サーバー・ネットワーク関連機器、関連サービス・サポート・ソフトウェア、ドキュメント関連サービス・ソリューション等
商用印刷		カットシートPP（プロダクションプリンター）・連帳PP等機器、関連消耗品・サービス・サポート・ソフトウェア等
産業印刷		インクジェットヘッド、作像システム、産業プリンタ等
サーマル		サーマルメディア等
その他	産業プロダクツ	光学機器・電装ユニット・半導体等
	SmartVision	デジタルカメラ・産業用カメラ等
	その他	3Dプリント、環境、ヘルスケア等





■ 2018年3月期 第1四半期

※ファイナンス事業：国内、海外で展開するファイナンス事業

①損益計算書

(単位：億円)

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
売上高	4,925	4,763	347
営業利益	189	116	73

②財政状態計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
資産	27,808	17,837	11,762
ファイナンス事業債権	9,450	0	9,450
負債	16,466	8,024	10,233
有利子負債	8,770	582	9,454
資本合計	11,341	9,813	1,528
ネット有利子負債	7,362	△2,028	9,391

③キャッシュフロー計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
フリーキャッシュフロー	67	346	△279

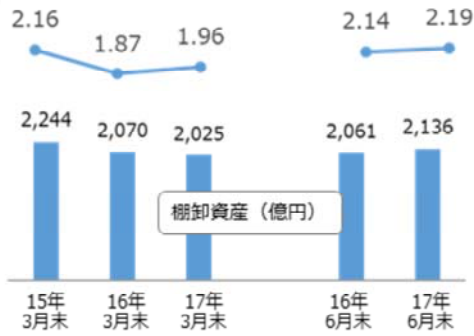
<経営指標>

	連結	製品・サービス事業
親会社所有者帰属持分比率	38.1%	55.0%
有利子負債比率(DELシオ)	82.9%	5.9%
総資産回転率	0.71	1.07

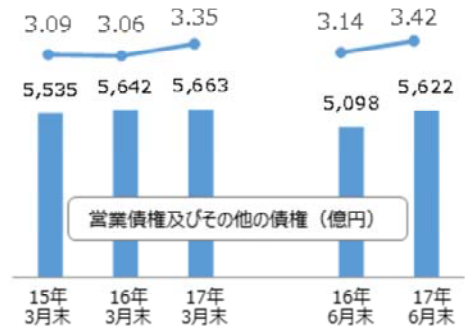
参考情報です。一部項目に概算の情報が含まれます。



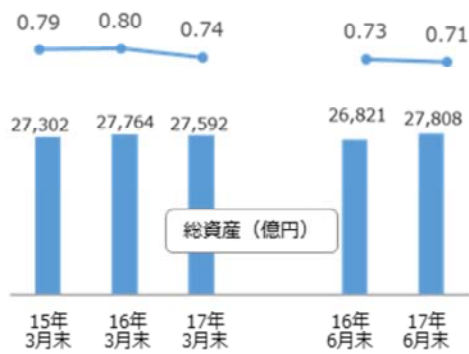
■ 棚卸資産回転期間（月数）



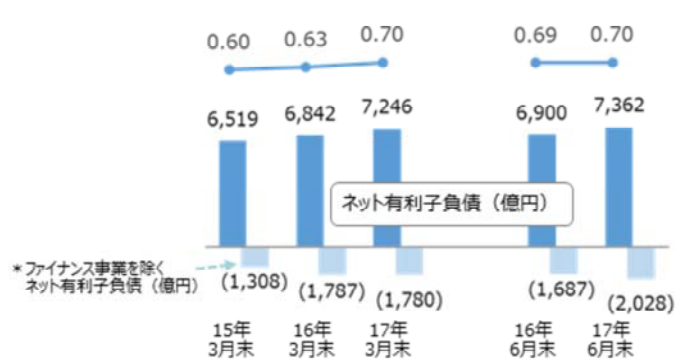
■ 営業債権及びその他の債権回転期間（月数）



■ 総資産回転率（一ヶ月平均回数）



■ ネットD/Eレシオ（倍率）



(単位：億円)	FY2017/03 実績	FY2018/03 前回見通し (2017年4月)	FY2018/03 見通し	前年比較		
				金額差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高						
(国内)	7,675	7,700	<b>7,870</b>	+194	+2.5%	+2.5%
(海外)	12,613	12,300	<b>12,130</b>	-483	-3.8%	-2.1%
合計	20,288	20,000	<b>20,000</b>	-288	-1.4%	-0.4%
売上総利益	7,886	7,500	<b>7,500</b>	-386	-4.9%	
(対売上高%)	38.9%	37.5%	<b>37.5%</b>			
販売費&一般管理費	7,593	7,320	<b>7,320</b>	-273	-3.6%	
(対売上高%)	37.4%	36.6%	<b>36.6%</b>			
営業利益	338	180	<b>180</b>	-158	-46.9%	
(対売上高%)	1.7%	0.9%	<b>0.9%</b>			
税引前利益	299	130	<b>130</b>	-169	-56.6%	
(対売上高%)	1.5%	0.7%	<b>0.7%</b>			
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	34	30	<b>30</b>	-4	-14.0%	
(対売上高%)	2.8%	0.2%	<b>0.2%</b>			
一株当たり当期利益	4.81	4.14	<b>4.14</b>	-0.67		
為替レート						
円/1US\$	108.39	105.00	<b>106.54</b>	-1.85		
円/1EURO	118.82	115.00	<b>116.78</b>	-2.04		

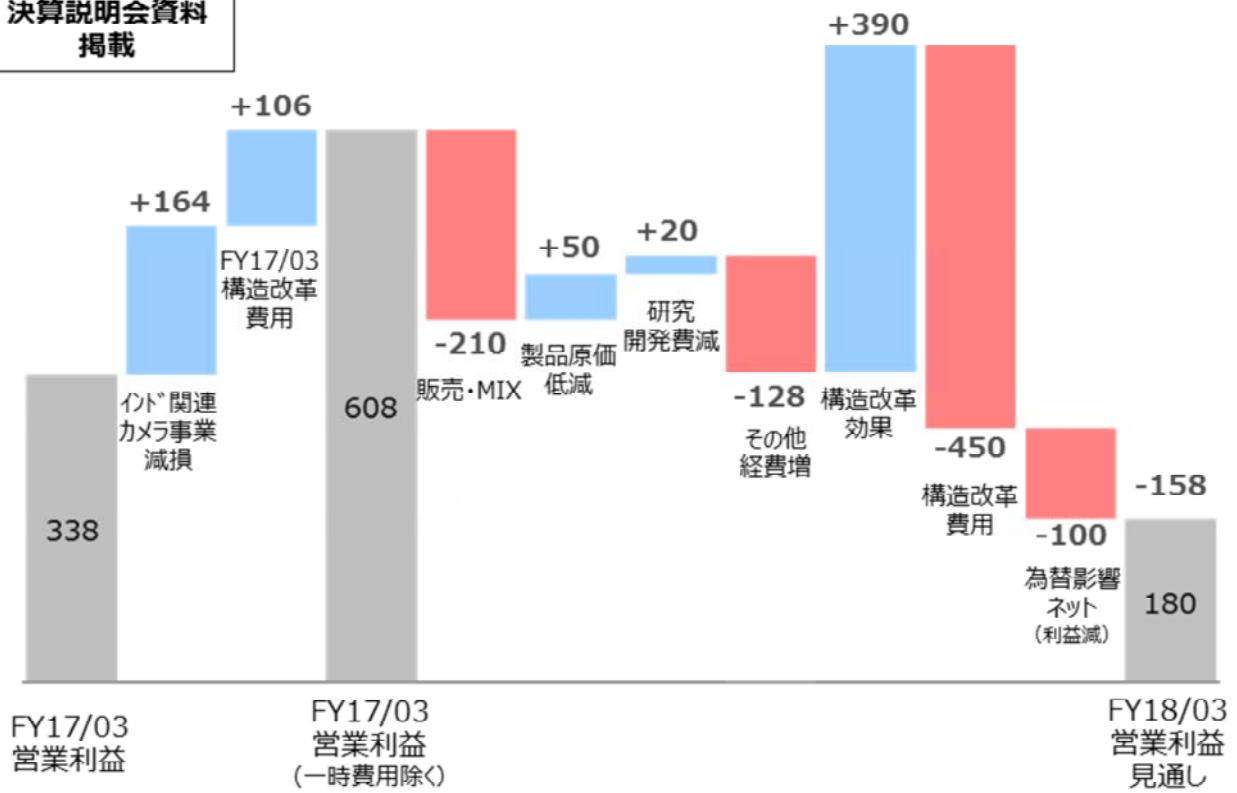
<投資関連>

(単位：億円)	FY17/03 実績	FY18/03 見通し
研究開発投資	1,143	1,170
売上高比率	5.6%	5.9%
設備投資	754	760
減価償却費 (有形固定資産)	680	660



# 再掲：2018年3月期見通し 営業利益前年比増減 (単位：億円)

2017.4.28  
決算説明会資料  
掲載

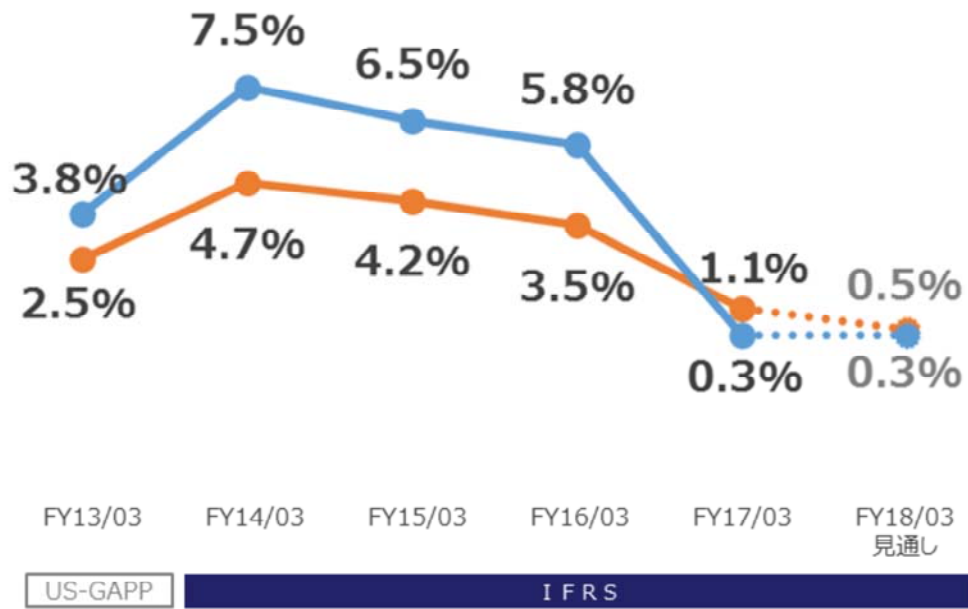




# 参考 : ROE / ROA\*推移

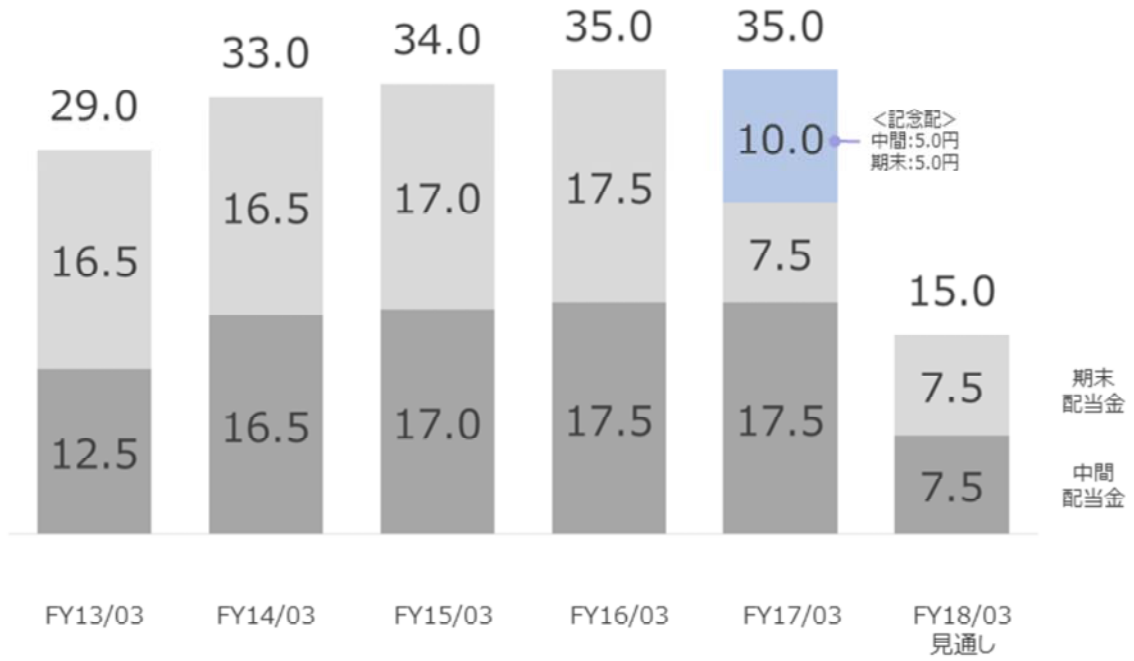
\*ROA : 総資産税引前利益率

- ROE
- ROA





# 参考：一株あたり配当金推移 (単位：円)





**MFP・プリンター・CP ノンハード比率** \*為替影響含む金額ベース比率

		FY2016/03				FY2017/03				FY2018/03	FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	67%	74%	67%	58%	68%	77%	70%	58%	69%	66%	68%
	海外	56%	54%	55%	52%	59%	55%	57%	55%	56%	54%	56%
	合計	59%	59%	59%	53%	61%	61%	60%	56%	60%	57%	59%
プリンター	国内	90%	88%	88%	85%	90%	88%	89%	84%	90%	88%	88%
	海外	69%	68%	65%	67%	67%	65%	68%	69%	68%	68%	67%
	合計	79%	77%	76%	76%	78%	77%	79%	77%	78%	77%	78%
CP *	国内	58%	59%	60%	51%	57%	56%	56%	46%	61%	57%	53%
	海外	58%	59%	57%	53%	59%	55%	57%	53%	59%	57%	56%
	合計	58%	59%	57%	53%	59%	55%	57%	52%	60%	57%	55%

**MFP・プリンター・CP計 ハード・ノンハード売上高前年同期比伸び率推移**





オフィスプリンター (MFP・プリンター)、プリンティング (CP) 前年同期伸び率 \*金額伸び率

【ハードウェア】		FY2016/03				FY2017/03				FY2018/03	FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP + プリンター計 (オフィスプリンティング)	国内	+2%	-6%	+2%	-4%	-3%	-1%	-4%	+4%	-1%	-1%	-0%
	海外	+6%	+2%	-5%	-4%	-20%	-19%	-16%	-7%	-4%	-0%	-15%
	(為替除く)	-2%	-6%	-9%	+0%	-10%	-3%	-6%	-4%	-5%	-4%	-6%
	合計	+5%	+1%	-4%	-4%	-16%	-16%	-14%	-4%	-3%	-1%	-12%
MFP	国内	+2%	-3%	-0%	-5%	-3%	-3%	-4%	+4%	-1%	-2%	-1%
	海外	+6%	+2%	-6%	-3%	-20%	-19%	-16%	-7%	-4%	-1%	-16%
	(為替除く)	-2%	-7%	-10%	+1%	-11%	-4%	-6%	-4%	-6%	-5%	-6%
	合計	+5%	+1%	-5%	-3%	-17%	-17%	-14%	-4%	-4%	-1%	-13%
プリンター	国内	+4%	-17%	+23%	+10%	-4%	+9%	-5%	+4%	+2%	+4%	+2%
	海外	+6%	+11%	+5%	-9%	-12%	-15%	-18%	-8%	+3%	+3%	-13%
	(為替除く)	-2%	+3%	+5%	-4%	-1%	+2%	-8%	-5%	+2%	+0%	-3%
	合計	+6%	+4%	+8%	-4%	-10%	-9%	-15%	-4%	+3%	+3%	-10%
CP *	国内	+20%	-15%	+10%	+15%	+12%	+26%	+31%	+28%	+43%	+7%	+25%
	海外	+26%	+28%	+37%	+18%	-8%	-16%	-15%	-2%	+6%	+27%	-10%
	(為替除く)	+16%	+18%	+34%	+18%	+3%	-0%	-5%	+2%	+4%	+21%	-0%
	合計	+25%	+22%	+33%	+18%	-6%	-12%	-10%	+2%	+9%	+24%	-6%
	国内	+17%	+13%	+31%	+17%	+4%	+2%	-1%	+6%	+7%	+19%	+3%
	海外											
	(為替除く)											
	合計											

\* カットシート機、連帳機のハードウェア売上高合計の伸び率 (ソリューション売上等は含まず)





オフィスプリンター (MFP・プリンター)、プリンティング (CP) 前年同期伸び率 \*金額伸び率

【ノンハード】		FY2016/03				FY2017/03				FY2018/03	FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP + プリンター計 (オフィスプリンティング)	国内	+0%	-5%	-4%	-2%	-4%	-2%	+0%	-2%	-1%	-3%	-2%
	海外	+4%	+2%	-4%	-10%	-14%	-19%	-14%	-2%	-3%	-2%	-12%
	(為替除く)	-2%	-4%	+1%	-5%	-4%	-4%	-3%	+1%	-5%	-3%	-3%
	合計	+3%	-1%	-4%	-7%	-11%	-13%	-9%	-2%	-2%	-2%	-9%
	(為替除く)	-1%	-5%	-1%	-4%	-4%	-3%	-2%	+0%	-4%	-3%	-2%
MFP	国内	-3%	-3%	-5%	-2%	-4%	-4%	-3%	-3%	-2%	-3%	-3%
	海外	+3%	+2%	-4%	-11%	-13%	-18%	-14%	-2%	-6%	-3%	-12%
	(為替除く)	-3%	-5%	+1%	-6%	-3%	-2%	-4%	+1%	-7%	-3%	-2%
	合計	+1%	+0%	-4%	-8%	-10%	-14%	-11%	-2%	-4%	-3%	-9%
	(為替除く)	-3%	-4%	-1%	-5%	-3%	-3%	-4%	-0%	-6%	-3%	-3%
プリンター	国内	+11%	-11%	-2%	-1%	-4%	+3%	+6%	+1%	+2%	-1%	+2%
	海外	+8%	+4%	-5%	-4%	-22%	-25%	-9%	-0%	+13%	+1%	-14%
	(為替除く)	+2%	-1%	-3%	+2%	-12%	-11%	+2%	+4%	+11%	-0%	-5%
	合計	+9%	-4%	-3%	-2%	-12%	-11%	-1%	+0%	+6%	-0%	-6%
	(為替除く)	+6%	-7%	-3%	+0%	-8%	-4%	+4%	+2%	+6%	-1%	-1%
CP *	国内	+1%	+2%	+6%	+7%	+3%	+7%	+7%	+3%	+14%	+4%	+5%
	海外	+17%	+20%	+12%	+2%	-2%	-11%	-3%	+7%	+8%	+12%	-2%
	(為替除く)	+7%	+11%	+11%	-2%	+9%	+6%	+8%	+11%	+6%	+7%	+9%
	合計	+15%	+17%	+12%	+3%	-2%	-9%	-2%	+7%	+8%	+11%	-1%
	(為替除く)	+6%	+10%	+11%	-1%	+8%	+6%	+8%	+10%	+7%	+6%	+8%

\* カットシート機、運帳機のハードウェア売上高合計の伸び率 (ソリューション売上等は含まず)



**MFP・プリンター カラー比率** \*ハードウェア出荷、金額ベース

		FY2016/03				FY2017/03				FY2018/03	FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	90%	87%	87%	84%	91%	87%	90%	86%	89%	86%	88%
	海外	65%	64%	64%	69%	66%	63%	67%	69%	66%	66%	66%
	合計	70%	68%	69%	73%	72%	67%	72%	74%	71%	70%	71%
プリンター	国内	45%	42%	41%	54%	50%	50%	51%	53%	57%	46%	51%
	海外	37%	36%	37%	37%	35%	34%	31%	31%	30%	37%	33%
	合計	39%	37%	38%	42%	39%	38%	36%	39%	36%	39%	38%
CP	国内	42%	32%	46%	44%	50%	43%	54%	51%	81%	41%	50%
	海外	68%	71%	76%	77%	75%	73%	78%	76%	76%	73%	76%
	合計	64%	67%	73%	73%	72%	69%	74%	72%	77%	70%	72%

**期末従業員数** \*各期末時点 (単位: 名)

		FY14/03	FY15/03	FY16/03	FY17/03	FY18/03
						Q1
日本		36,873	36,371	35,779	35,490	35,705
海外	米州	31,853	31,766	31,501	30,516	28,926
	欧州・中東・アフリカ	18,422	18,525	18,643	17,652	17,250
	中国	11,932	12,856	12,897	11,925	11,502
	アジア・パシフィック	9,115	10,433	10,541	10,030	9,831
	小計	71,322	73,580	73,582	70,123	67,509
合計		108,195	109,951	109,361	105,613	103,214



# オフィスMFP 主な新製品投入状況

FY15/03

FY16/03

FY17/03

FY18/03

Color  
MFP



Mono  
MFP















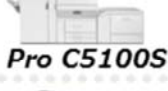





A4  
MFP





# プロダクションプリンティング 主な新製品投入状況

Color Continuous Form		 <b>InfoPrint5000</b>	 <b>InfoPrint5000VP</b>	 <b>Pro VC60000</b>	
Color Cut Sheet	Heavy			 <b>Pro C9110</b>	
				 <b>Pro C9100</b>	
	Mid	 <b>Pro C900</b>	 <b>Pro C901</b>	 <b>Pro C7110S</b>	
		 <b>Pro C720</b>		 <b>Pro C7100S</b>	
	Light	 <b>Pro C751</b>	 <b>Pro C5110S</b>		 <b>Pro C5210S</b>
		 <b>Pro C651</b>	 <b>Pro C5100S</b>		 <b>Pro C5200S</b>
Color Wide Format Inkjet		 <b>MP CW2200</b>	 <b>Pro L4000</b>		
		~ FY14/03	FY15/03 - FY16/03	FY17/03 ~	

**RICOH**  
imagine. change.

<http://jp.ricoh.com/IR/>